

市役所 あれやこれや 2010

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです

6.1(火) 地域の見守り活動を強化!

土佐香美農業協同組合、香南市と香美市の民生委員児童委員協議会連合会、香南市、香美市が地域の見守り活動協定を締結しました。

この協定により、地域の高齢者や支援が必要と思われる世帯、子どもなどの安全などの見守り活動を互いに協力し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができることを目指します。



福祉事務所 ☎ 57-8509

6.2(水) 議案審議が変わりました

6月定例会から、これまで常任委員会(総務、産業建設、教育民生)に付託していた議案審議を、本会議で審議する方式に変更しました。

これは議員定数の削減などを考慮し、会議の効率化と情報の共有により議会のレベルアップを図るもので県内11市初の運営方法です。

その中でも専門的な内容や一定の議論が必要な場合には、各委員会に付託をします。



議会事務局 ☎ 57-8513

6.2(水) 副市長が任命されました



第27回香南市議会定例会で議会の同意を得て山本学副市長が再任しました。

◆任期
平成22年6月5日～
平成26年6月4日

■昭和30年1月1日 旧野市町総務課長、旧野市町野市町生まれ
0型 日本大学卒

総務課 ☎ 57-8500

6.6(日) まちをきれいに！一斉清掃

今回の市内一斉清掃では、約26tのごみ(うち木類約16t)と23m³の土砂を処分しました。

早朝から地域住民らの協力で「まち」がきれいになりました。

次回は、12月に行う予定ですが、不法投棄ごみを少しでも減らしきれいな地域を保てるようみんなでルールを守っていきましょう!



を少しでも減らしきれいな地域を保てるようみんなでルールを守っていきましょう!

6.7(月) 広域災害ネットワークに新たな仲間

昨年1月に近畿・九州・四国の9府県自治体と遠隔地防災協定を締結した「市町村広域災害ネットワーク」に新たに3市が加わり、12団体となりました。今後、合同の防災訓練などを行い災害に備えます。

【新規加入団体】
岡山県玉野市
愛知県刈谷市
岐阜県可児市



防災対策課 ☎ 57-8501

6.8(火) 監査委員を紹介します

市の監査委員は、公正公平な立場から合理的で能率的な行財政運営確保のため、違法などの指摘はもちろん、指導に重点を置き、毎月の例月監査、年6回の定期監査、決算審査などを踏まえた財政健全化への意見書を市長に提出しています。

監査委員3人のうち、任期満了に伴う新たな2人が決まり新体制となりました。



■写真左【5月1日就任】
安岡 宏 野市町 議会選出
■写真中【6月8日再任】
北村 秀夫 夜須町 識見者
■写真右【5月1日就任】
長崎 清 香我美町 識見者
監査事務局 ☎ 57-8514

よりよい学校給食を 学校給食を考える会「シンポジウム」

5月29日(土)のいちふれあいセンターで食育や統合給食センターなどをテーマに「学校給食を考えるシンポジウム」が行われ、保護者ら約100人が学校給食のあり方について考えました。これは、「香南市の学校給食を考える会」が企画。講師に南国市前教育長の西森善郎氏を迎え南国市の全小学校で米飯給食を取り入れた経過や香南市の統合給食の問題などに触れ「相違点を見つけて対立するのではなく、共通点を見つけて、地域が一体になることが大切」と提案されました。



8人で地元食材をPR 吉川小学校5年生「ラッキョウ販売」

6月11日(金)高知市のひろめ市場で吉川小学校5年生8人が、地元食材を広めようと自分たちで育てたラッキョウを酢づけにして販売しました。ラッキョウは校庭の畑で昨秋に植栽。地元農家に教わりながら農薬を使わずに大切に育て、収穫したものです。

味付けは激辛、ピリ辛、甘辛の3種類。ラベルも8人が描いたキャラクターを張り約60袋を完売しました。子どもたちは「お客さんに吉川のラッキョウをPRできました」と買い物客の反応に手応えを感じたようです。



6 考古学が見えてきた 香南市文化財センター



▲勾玉作り:古代の日本における装身具の一つで首飾り。曲玉とも呼ばれる。

5月23日(日)市文化財センターでオープン1周年のイベントが行われ、雨天にも関わらずたくさんの家族連れでにぎわいました。展示された出土品は、昨年刊行した3遺跡の報告書に関係するもので、担当職員の手際よい説明で見学しました。どんぐり・メロンの種・鯉の骨など初めて見た出土品ばかり。写真パネルによる発掘現場のくわしい説明や勾玉作り、火おこしなどにはおどろきがいっぱいで、参加者たちの貴重な体験となり文化財と接する良い機会となりました。

釣って食べて物部川を堪能 第24回「ダイワ鮎マスターズ2010」



※物部川で初めて開催されたこの大会は、平成24年まで同河川で開催されます。

6月9日(水)物部川河川敷で全国大会「ダイワ鮎マスターズ2010」の四国地区大会が開催されました。この日参加したプロ・アマ合わせて101人の選手は、朝7時から釣果を競いました。優勝した安田町の有安只祐さんは、「鮎釣りの醍醐味はあたり。この刺激があるからやめられない」と満面の笑みを浮かべていました。

また、釣り上げられた約400匹の鮎は、市内の福祉施設へ寄贈されました。はまゆうの里では塩焼きにして物部川の旬の味覚を堪能しました。